

「市民活動の交差点」を目指して 特定非営利活法人宝塚NPOセンター

受け継がれる思い

宝塚NPOセンターは平成10年に設立され、翌年NPO法人化された。

設立者で前事務局長の故森綾子さんは、当時宝塚市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターをしていた。たまたまあるボランティアの方から「アメリカにはNPOという仕組みがある」と聞き、「市民が市民を助け合う仕組みを作りたい。自分のやりたいことはこれだ」と思い、このセンターを立ち上げた。

森さん亡き後を受け継いだ現事務局長の中山光子さんは、「『宝塚NPOセンターは市民活動の交差点』を合言葉にたくさんの人に来てもらい、地域の活動をつないでいきたい」と語る。「NPO活動だけに特化するのではなく、コミュニティビジネスや就業を通じて社会参加するなど、何かしたいという人と社会をつ

なぐ交差点でありたい。社会参加と社会貢献ができる場面を作っていくのが役割だと思う」と強い思いを語った。

中間支援組織として 頼れる存在

宝塚NPOセンターは今年14年目に入り、設立を支援してきたNPO法人などの数は200を超えた。その中のひとつである『ほたるの里奥米地』（養父市）の設立の話を、センターが運営する生きがいしごとサポートセンター阪神北のセンター長の吹曾幸雄さんから聞くことができた。当初NPO法人設立に関心がなかった村役さん達に、宝塚から雪の奥米地に何度か通い説明した結果、50戸ある集落の村人全員が会員となり、法人設立（平成22年6月に認証）に至った。こうした法人設立の支援は兵庫県内全域を対象におこなっている。

10年後は にぎやかな交差点に…

宝塚NPOセンターは、NPOと市民、行政が連携し、一緒に考えながら街をつくっていくという取り組みにも力を入れている。10年後の市のビジョンとなる『第5次宝塚市総合計画』の作成業務を受託したのもそうしたねらいがあった。計画概要版の冊子は、二人の子供をもつお母さんがデザインし、漫画版は宝塚大学芸術部の先生や学生さんたちが参加し、小中学生にもわかるものが



市民の手で市民に分かりやすい計画づくり

できあがった。

今年に入り、NPOからの相談件数が増えてきている。10年後、NPO法人がいっぱいある街になれば、「市民活動の交差点」もますますにぎわいを増すことだろう。



ボランティアさんが整理してくれるセンター内のチラシコーナー

特定非営利活動法人宝塚NPOセンター
〒665-0845宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F
☎0797-85-7766
FAX0797-85-7799
生きがいしごとサポートセンター阪神北
☎0797-87-4350
FAX0797-85-7799